

みどり会グループ「道と川の愛護活動」で県知事表彰

地域の道路、河川などにおける愛護活動に功績のあった個人・団体に対し贈られる「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動」県知事表彰を、みどり会グループ（嵐谷勝義会長）が受賞されました。

みどり会グループは、鳥上地区の自治会長OBで結成されたボランティアグループ。自分たちの住む地域を大切にしたいという思いから、長年に渡り鳥上小学校付近の斐伊川河川敷の草刈りや清掃美化活動に取り組みられています。また、鳥上小学校の自然環境学習の

場として通路の草刈りや整地など安全な環境づくりにも貢献。これらの活動が評価され、受賞となりました。



▲嵐谷会長(左)と安川圭一副会長(右)

奥出雲病院に車いすが寄贈されました

第一生命保険労働組合雲南分会から奥出雲病院に車いす一台が寄贈されました。

九月二十六日、同組合の渡部栄子分会長が病院を訪れ、「奥出雲町の皆さんのお役に少しでもなれば」と深澤院長に車いすを手渡ししました。

寄贈された車いすは、正面玄関に設置し、訪れる方に自由に使用していただく予定です。



▶深澤院長(中央)に車いすを手渡す渡部分会長(右から二番目)

大手食品メーカーの看板商品に仁多米を使用

三重県に本社を構える(株)柿安本店が、仁多米を使用した牛飯弁当を全国約八十三店舗で販売することになりました。

(株)柿安本店は、明治四年に三重県桑名に牛鍋屋として創業した牛肉料理の老舗。最高級な食材を使用した料亭や惣菜、和菓子販売などを手掛ける大手食品メーカーです。

また、仁多米が使用される牛飯弁当は、全国の有名百貨店で販売されている看板商品。「西の横綱」「冷めてもおいしい」と仁多米が評判となり、柿安ブランドの一品として選ばれました。



▲刈り穂式で稲を刈る赤塚社長

後さらに仁多米が全国ブランドとしてレベラアップすることが期待されます。

収穫の秋！ 一味同心塾で稲刈り体験

上阿井の「一味同心塾」で九月二十七日、春の田植えに続き稲刈り体験が行われ、米づくり委員会、メンパーや鳥根りハビリテーション学院の学生など約八十人が収穫作業を行いました。

広さ約三十坪の田で、黄金色に色づいた無農薬栽培のコシヒカリを、手刈りとバインダーで刈り取り。

参加者の多くが手刈り作業は初体験のため、米づくり委員会のメンバーから手ほどきを受けなが

だんだんカンパニー 仁多米販売に挑戦



▲協力してはで干し作業をする社員たち

横田高校二年生が社員となって運営する「だんだんカンパニー」の加工販売に加えて、仁多米も販売することになりました。

九月十二日、高校近くのほ場で、社員が稲のはで干し作業を行い、慣れない作業に汗を流し、農作業の大変さを肌で感じた様子でした。

社員は十一月十九日から二日間、東京の「日本橋しまね館」「有楽町マルシェ」などで、販売に挑戦します。「仁多米の美味しさをアピールして売り込みたい」と販売に向けて意欲を見せています。

ら、慣れない手つきで作業を行いました。また、七段十八間(けんま)の巨大なハデが組み上げられ、刈り取った稲束を協力しながらハデに掛けていました。

参加した学生は「久しぶりに稲刈りをして、子どもの頃に手伝わなかったことを思い出しながら楽しく作業できた」と話していました。

当日は好天に恵まれ、参加者は澄み渡った秋空の下で爽やかな汗を流しました。

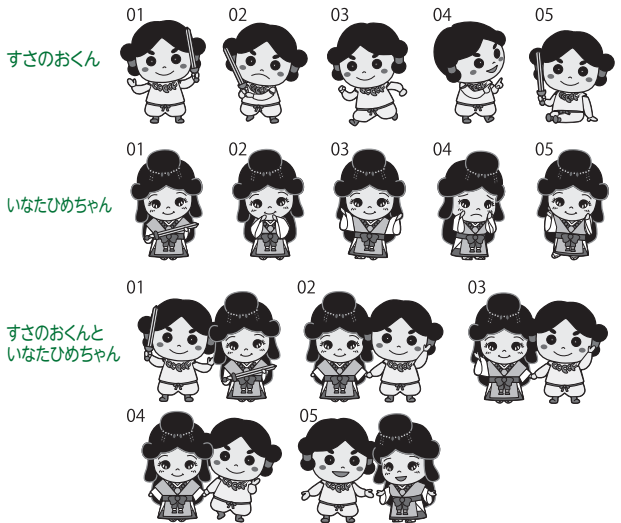


▲慣れない手つきで稲を束ねる参加者

すさのおくん いなたひめちゃん イラスト完成!

奥出雲町マスコットキャラクター「すさのおくん、いなたひめちゃん」のイラストが完成しました。「すさのおくん」5種類、「いなたひめちゃん」5種類、「ペア」5種類です。

申請後、印刷物等へご利用可能ですので、詳しくは「奥出雲町観光文化協会」(電話54-2260)までお問い合わせください。



おくいずもの秋を楽しむ25の体験プログラム「むふふオータム2014」開催中!

「むふふオータム」とは、地域資源を活かした体験プログラムで観光客をおもてなしするイベントで、「地域の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらいたい」という思いから「おくいずも女子旅つくる!委員会」が企画。まちの人たちが練りに練った、思わず「むふふ」と笑顔になるような楽しい25のプログラムを、奥出雲エリア(奥出雲町、雲南市、飯南町)で体験できます。

開催期間は、9月27日から11月30日まで。詳しくは、冊子またはホームページをご覧ください。

